

第13回日本公衆衛生看護学会学術集会 in愛知
全国保健師長会特別企画（第10回ワークショップ）

変わりゆく保健師の役割と 変わらないコアについて考える

～『多職種』『連携』をキーワードに～

令和7年1月5日(日) 14:55～16:15
会場 ウィンクあいち 11階 第6会場

Part1

1

講師

田中明美氏

奈良県生駒市特命監

豊富な経験と実践に即した多職種との連携や多職種からの保健師への期待等について、保健師目線からお話いただきます。

Part1

2

講師

夏原善治氏

ジャパンヘルスケアドリーム
株式会社 代表取締役社長

元行政職員としての経験をもとに保健師の強みや弱み、保健師への期待等について異業種の立場から、お話いただきます。

Part1

3



グループ
ワーク

日ごろの活動を振り返り「多職種」「連携」の他、参加者が大切にしたい保健師のコアを確認しながら、今後のありたい姿を話し合しましょう。

私たち保健師は、公衆衛生看護という専門性を発揮し、様々な健康課題に対応してきました。近年、生活スタイルの変化や新興感染症など、健康課題が多様化・複雑化する中、住民のQOLの向上と誰一人取り残さない健康づくりの推進のためは、様々な地域の社会資源の活用や多職種との連携が重要です。本ワークショップでは、「多職種」「連携」をキーワードに、保健師が果たす役割や期待等について改めて考えてみましょう。

保健師のコアについて、みんなで意見交換しましょう！

ワークショップ参加には

第13回日本公衆衛生学会学術集会の参加申し込みが必要です。

詳細は学会ホームページをご覧ください。 <https://japhn13.yupia.net>

当日は直接ワークショップ会場にお集まり下さい。

全国師長会会員に限らず、どなたでも参加できます。

(ワークショップ番号)

6-6